

【図書名等】 フォークリフト運転士テキスト  
 コード No.23177 第3版 定価 1,620 円 (税込み)  
 (コード No.定価は現行どおりです。)

【発行日】 平成 29 年 2 月 17 日

【改訂の概要】

改 訂 の あ ら ま し	該 当 頁
<p>最新の知見、技術動向、労働安全衛生法等の改正法令に対応して内容およびイラストを見直し、編の冒頭に「各章のまとめ」を追加したほか、旧版の「第5編 災害事例」は巻末の参考資料3に移動した。</p> <p>【用語の統一】全体にわたり、以下のように用語を修正した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「内燃機関式」→「エンジン式」</li> <li>・「蓄電池式」「バッテリー式」→「電気式」</li> <li>・「カウンターバランス形」→「カウンターバランスフォークリフト」</li> <li>・「リーチ形」→「リーチフォークリフト」</li> </ul>	
<p>学科講習科目について掲載</p>	vi
<p>第1編 総 則</p> <p>第1章 フォークリフトの利用等の状況と災害発生の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図1-1～図1-3の統計を最新のものに更新</li> <li>・意識障害に関する記述を追記</li> <li>・ストラドルキャリアの運転者に対する教育について注を追記</li> </ul>	2～4 3 3
<p>第2章 フォークリフトの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図1-4～図1-9を写真に変更し、あわせて説明文を修正</li> <li>・図1-12の統計を最新のものに更新し、注を追記</li> <li>・用語の統一について注を追記</li> <li>・(3)車輪タイプによる分類、(4)操縦方式による分類について文言を整理</li> <li>・表1-2を差替え</li> <li>・旧版表1-3は削除</li> </ul>	6～7 8 8 9 12 —
<p>第3章 フォークリフトの機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1.フォークリフトの安定度」について6つのJIS規格を追記</li> <li>・「2.フォークの強度」～「8.離席時の走行・荷役インターロックシステム」について記述を修正</li> </ul>	17 18～22
<p>第2編 フォークリフトの走行に関する装置の構造および取扱いの方法に関する知識</p> <p>第1章 構 造</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全面的に書換え。旧版の「1(4)防爆構造について」「2(5)コンタクタの構造」「2(6)たわみ継手」「5(5)ウォーカーフォークリフトのブレーキ」は削除。</li> <li>・用語(クランブリー、カップリング)について注を追記</li> </ul>	24～51 28
<p>第2章 取扱いの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検項目と内容(1)～(3)を修正</li> <li>・図2-45 特定自主検査済標章を更新</li> <li>・(1)運転席と(2)発進前を入替え</li> <li>・(2)発進前②「…フォーク(パレット)を地面から15～20cmまで上げる」を「…フォーク(パレット)の底面を地面から15～20cmまで上げる」とする。以下同様の記載についても同じように修正。</li> <li>・用語(ドライブギヤ、ドリブンギヤ、しゅう動)について注を追記</li> <li>・旧版の図3-36 ロールボックスパレットおよび関連する記述は削除</li> </ul>	53～54 55 57 58 74 —

・旧版の「7. 運転上の安全の心得」は参考資料 5 に移動	247～254
<b>第 3 編</b> フォークリフトの荷役に関する装置の構造および取扱いの方法に関する知識	
<b>第 1 章</b> 構造	
・運転者に必要な知識に絞る観点で旧版の「1(2)マストについて」「2(3)コントロールバルブ」は部分的に削除、図 3-9、図 3-10、図 3-12 (一部)、図 3-15～図 3-18 は削除	—
<b>第 2 章</b> 取扱いの方法	
・「4. フレキシブルコンテナの取扱い」は削除	—
<b>第 4 編</b> フォークリフトの運転に必要な力学に関する知識	
<b>第 1 章</b> 力	
・図 4-2 を修正	100
・図 4-3、図 4-4 を修正	101
<b>第 2 章</b> 質量・重さおよび重心	
・表 4-1 の注に「粘土」を追加	109
・運転者に必要な知識に絞る観点で「2(2)図式計算による重心の求め方」「2(3)数式による重心の求め方」「6 仕事、動力および機械効率」は削除	—
<b>第 4 章</b> 荷重、応力および材料の強さ	
・図 4-33、図 4-34 を修正	125
・「2. 応力」について運転者に必要な知識に絞る観点で大幅に削除	—
・旧版の表 4-4 および「(4)フォークリフトの安定度」を削除 (第 1 編第 3 章 1 に掲載)	15
<b>第 5 編</b> 関係法令	
<b>第 2 章</b> 労働安全衛生法 (抄)	
・第 28 条の 2 の条文を修正するとともに、解説でリスクアセスメントに関する部分を追加	140～141
・第 28 条の 2 の解説の中に則第 24 条の 13 を追加	145
<b>第 4 章</b> 労働安全衛生規則 (抄)	
・第 151 条の 24 の解説内の検査標章を更新	179
<b>参考資料</b>	
・参考資料 1 として「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン (抄)」を追加	204～213
・旧版で第 6 編第 10 章にあった「危険性又は有害性等の調査等に関する指針」を参考資料 2 に移動	214～219
・旧版の「第 5 編 災害事例」を参考資料 3 に移動し、災害事例 (事故の型別) 一覧を追加し、あわせて災害別に並べ替えた (旧版の事例 11 は削除)	220～245
・事例 4 の関係法令に労働安全衛生規則第 151 条の 5 を追記	229
・事例 5 の関係法令に労働安全衛生法施行令第 6 条、労働安全衛生規則第 429 条を削除	231
・旧版で第 5 編にあった「フォークリフトによる作業計画 (例)」を参考資料 4 に移動	246